

表 4 緊急母体搬送の症例（救急車、医師と助産師が同乗）

緊急母体搬送	県立中央病院 岩手医科大学		出血の内容
	5	2	
回旋異常、遅延	5	2	出血の内容 後腹内蓋までの裂傷 辺縁前置胎盤 早剥 前置血管
出血	2	2	
胎児ジストレス疑	3	2	
微弱陣痛	1	0	
PROM+早産	0	7	

- ・PPROM+早産の症例は全て妊娠34週以下で来院してすぐに搬送した
- ・微弱陣痛の症例は妊娠42週0日+PROMの症例で同日経膣分娩した

表5 新生児の紹介と搬送

新生児搬送	分娩数	搬送数	早産関連	奇形	(VSD, ASD)	呼吸	仮死	感染疑	その他	呼吸と仮死
1994	243	8	3	1			2	2		4
1995	265	13	2	3			3	2		5
1996	291	10	2	0			3	1		4
1997	260	6	0	0			4	0	帯切0	4
1998	314	11	0	5			3	0		3
1999	335	13		8		0	1	0		1
2000	378	6	0	5		0		0		1
2001	353	4	0	2		0	0			1
2002	372	8	0	6		3	0	1		1

最近5年間で救急車で搬送したのは平成14年12月の1例のみである。

図1 西島産婦人科医院と紹介・搬送医療施設

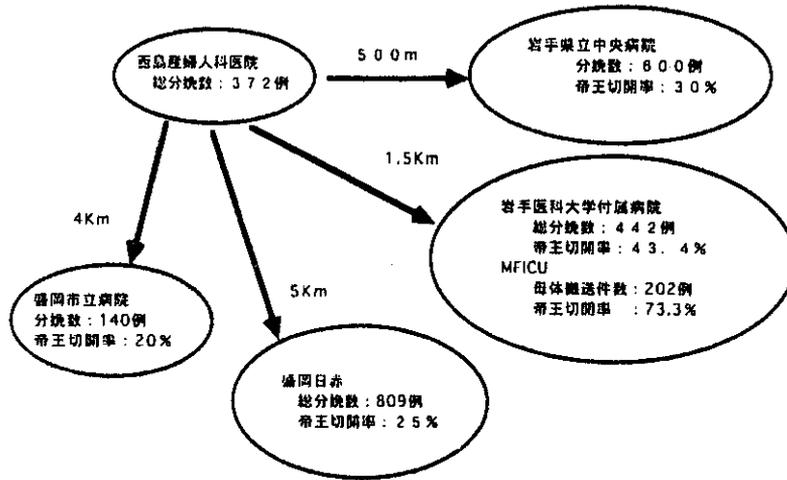


図2 紹介・搬送数と紹介・搬送率

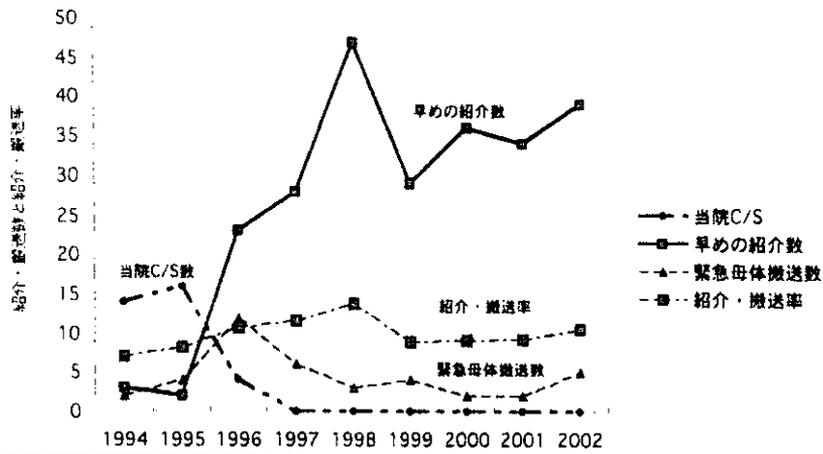
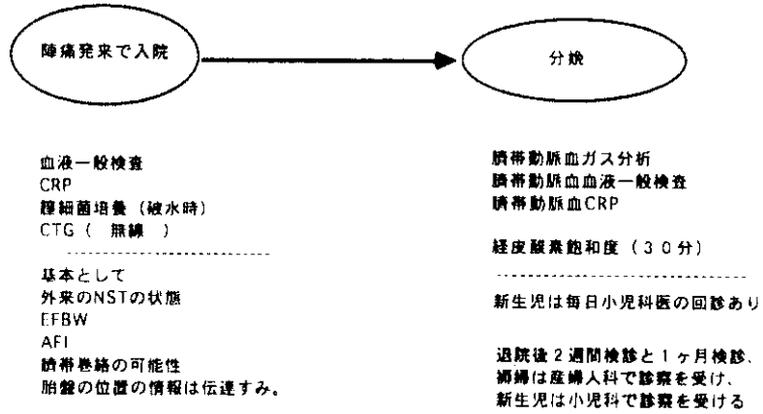


図3 入院から退院・1ヶ月検診までの概略



### Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

#### 書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
中村 肇	小児の健康と小児保健の意義と目的	中村 肇	小児保健学	日本小児医事出版	東京	2003	1-24
中村 肇	低出生体重児の予後	武谷雄二	新女性医学大系 11 リプロダクティブヘルス	中山書店	東京	2001	325-337
中村 肇	母児の予後・管理 新生児の長期予後	武谷雄二	新女性医学大系 24 妊娠中毒症	中山書店	東京	2001	307-317
大野 勉	全国周産期及び新生児医療施設実態調査に関する研究	中村 肇	平成 12 年度厚生科学研究（子ども家庭総合研究事業）報告書		東京	2001	155-171
三科 潤	新生児の予後の追跡	多田 裕	新生児ケアの実際	診断と治療社	東京	2000	270-283
三科 潤	新生児の予後	小川雄之亮 多田 裕、 中村 肇、 仁志田博司	新生児学	メディカ出版	大阪	2000	833-851
三科 潤	ハイリスク新生児のフォローアップ	武谷雄二、 池ノ上克	新女性医学大系	中山書店	東京	2000	435-444

#### 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
中村 肇	わが国の主要施設におけるハイリスク新生児医療の現状（2001年1月）と新生児死亡率（2000年1～12月）	日本小児科学会誌	106 (4)	603-613	2002
中村 肇	周産期医療の新しいパラダイムを求めて	日本新生児学会誌	38 (4)	593-599	2002
中村 肇	「健やか親子 21」とこれからの育児支援—出産前小児保健指導のもつ意味—	周産期医学	32(増刊)	389-394	2002
中村 肇	NICU 長期入院児に占める仮死児の割合と今後の対策	周産期医学	31	1639-1642	2001
中村 肇	超低出生体重児の予後からみ 21 世紀の課題	日本未熟児新生児学会誌	13	7-13	2001
中村 肇	超低出生体重児の全国予後調査成績	周産期医学	30	1363-1366	2000
大野 勉	在胎 25 週未満児の累積生存率と予後因子の検討	周産期学シンポジウム	19	9-18	2001
三科 潤	超低出生体重児のフォローアップ	周産期医学	31	1391-1394	2001
三科 潤	低出生体重児の長期予後と問題点	周産期医学	30	1363-1366	2000
多田 裕	周産期医療システムの現状と将来	産婦人科治療	85	259-265	2002
多田 裕	ハイリスク新生児とは	小児看護	25	1055-1062	2002
多田 裕	内分泌攪乱物質による乳幼児の健康障害	日本医師会雑誌	127	193-196	2002

多田 裕	環境汚染とこどもの健康	小児保健研究	61	169-173	2002
多田 裕	当院における超低出生体重児の後期神経学的合併症に関する要因の検討	日本新生児学会雑誌	38	304-310	2002
三科 潤	低出生体重児	保健の科学	44	252-255	2002
三科 潤	ハイリスク妊娠・分娩、ハイリスク新生児と育児	周産期医学	32	651-656	2002
三科 潤	極低出生体重児のフォローアップ-身体発育の評価、ハイリスク児のフォローアップ研究会プロトコールも含めて-	Neonatal Care	15	10-23	2002
後藤彰子	社会資源の有効利用	日本新生児学会雑誌	38	666-671	2002
後藤彰子	NICU 退院後の地域フォローアップ-病院と地域のネットワーク-	周産期医学	30	1279-1283	2002
中林正雄	母親の緊急搬送体制について-搬送を受ける産婦人科医の立場から-	日本医師会雑誌	127	1636-1638	2002
中林正雄	周産期母子センターの構想と現状 地域の現状 東京都	臨床産婦人科雑誌	55	1245-1247	2001
上谷良行	NICU 入院児を持つ母親への支援	日本新生児学会雑誌	38	662-665	2002
上谷良行	極低出生体重児の就学前発達状況	産婦人科の世界	55	49-57	2003

#### 学会発表

- 1) 多田裕：周産期医療における医療職の協働-新生児科の立場から- 第3回山梨母性衛生学会学術集会 2002年5月11日 甲府市
- 2) 多田裕：特別シンポジウム「新生児専門医制度・徹底考察」 第47回日本未熟児新生児学会学術集会 2002年12月18日 大阪
- 3) 河野由美, 三科潤, 中村肇：NICU・新生児室退院後の児がうけている医療・介護に関する調査, 医療従事者への調査 第38回日本新生児学会 2002年7月14-16日 神戸
- 4) 河野由美, 三科潤, 中村肇：NICU・新生児室退院後の児がうけている医療・介護に関する調査, 保護者への調査 第38回日本新生児学会 2002年7月14-16日, 神戸
- 5) Mishina J, Uetani Y, Nakamura H : Long term outcome of ELBW. The 13<sup>th</sup> Fukuoka international symposium on perinatal medicine, Fukuoka, 2002
- 6) 後藤彰子：これからの母子支援-社会資源の有効利用 第38回日本新生児学会 2002年7月14-16日, 神戸
- 7) 上谷良行, 常石秀市, 高田哲, 中村肇：これからの母子支援-NICU 入院児を持つ母親への支援 第38回日本新生児学会 2002年7月14-16日, 神戸
- 8) 細野茂春, 大野 勉他：在胎25週未満児の累積生存率と予後因子の検討 周産期学シンポジウム 2001年1月19, 20日 東京
- 9) 上谷良行, 他：1990年出生低出生体重児9歳時予後の全国調査-対照群との比較- 第37回日本新生児学会学術集会 2001年7月15, 16, 17日 横浜
- 10) 大野 勉, 他：全国周産期・新生児医療施設の実態調査 第2報：医療施設の人員と運営状況に

ついて 第103回日本小児科学会学術集会 2000年4月14、15、16日 和歌山

11) 中村 肇：超低出生体重児の予後からみた 21 世紀の課題 第45回日本未熟児新生児学会 2000年11月1-3日 新潟

12) 山縣然太郎：本邦における低出生体重児長期入院の実態 第45回日本未熟児新生児学会 2000年11月1-3日 新潟